

## 学則の変更の趣旨等を記載した書類

### 1. 学則変更（収容定員変更）の内容

鹿児島大学医学部医学科の入学定員107名については、平成21年度に「緊急医師確保対策」により5名の臨時定員増を、さらに平成22年度に「経済財政改革の基本方針2009」により10名、平成23年度に「新成長戦略」による歯学部入学定員の削減を行う大学の特例により2名のそれぞれ臨時定員増を実施したものである。また、平成21年度に「経済財政改革の基本方針2008」に基づき5名の恒久定員増を実施したものである。また、これらのうち、平成29年度を期限とする5名の入学定員について再度の入学定員増を実施したものである。

今回の入学定員増20名は、令和元年度を期限とする医学部臨時定員の再度の入学定員増17名及び地域の医師確保等の観点からの令和2年度医学部入学定員増3名による令和3年度までの臨時定員増であり、これにより、令和2年度の入学定員は110名となる。

### 2. 学則変更（収容定員変更）の必要性

鹿児島県は、南北600kmにおよび、多くの離島へき地を抱える地域特性（有人離島27、離島人口17万人）があり、広い県土内での医療者の偏在が顕著であり、また、全国に先駆けて高齢化が進展し、医療需要が高止まりする中、医療需要に応じた医師偏在対策が重要な課題となっている。

この深刻化する地域の医師不足の現状に対処し、効率的・安定的な医師配置を図るため、鹿児島県は本学や県医師会等の関係者と協力して、地域に必要な医師配置の方向性を示した「地域医療支援方策（H24.3）」を定めるとともに、中長期的な観点から、鹿児島の目指す姿や施策展開の基本方向などを明らかにするための「かごしま未来創造ビジョン（H30.3）」を策定し、医療従事者の安定的な確保及び質の向上、離島・へき地医療や救急医療、災害医療の提供体制の整備・充実、地域医療構想の推進等を目標として掲げている。また、鹿児島県は、県の保健医療行政の計画的・総合的な運営の基本となる「保健医療計画（H30.3）」を策定し、この中においても、地域枠医師の配置による医師偏在対策は重要な位置を占めている。

このような状況も踏まえて、本学は、県や医師会とともに、地域枠医師を含む医師確保対策に取り組んでいるところである。

地域枠医師は、医師不足に悩む市町村や医療機関が着実に医師を確保できる手段として、特に地方から強い要望があり、医師偏在是正を講じる上でも、確実な効果が見込まれる重要な方策の一つである。「医療従事者の需給に関する検討会 医師需給分科会 第4次中間取りまとめ」において、2036年度までに必要医師数を達成するための2020年度以降の鹿児島県の不足養成数が「27人／年」と示されていること等も受けて、今回、鹿児島県からは、3名の増員が要望されている。本学の大学憲章に掲げる、「地域社会の発展と活性化に貢献する」とした社会貢献の趣旨からも、地域格差・診療科間格差の是正は、県内唯一の医育機関としての使命であり、賛同するところである。また、教育環境にも大きな支障はなく、3名の増員は可能と考えている。

### 3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

今回、現在の入学定員107名に加えて3名増員し、令和2年度の入学定員を110名としても、教育課程、教育方法、教員組織等を大きく変えて対処する必要はない。しかしながら、教育の内容は変化する環境や制度に合わせて改変している。

○これまでに行っている地域医療教育としての取組

#### 【一般入学者に行っている取組】

##### 1) シャドウイング

3～4年次の見学実習「シャドウイング」では、26週間に渡って（1日／週）地域における医師の仕事、診療の理解に加え、生涯学習をする医師のキャリア形成や医療職の役割と連

携を理解し、その他の体験学習、コミュニケーションや診療手技等の実習、グループ討議などを実施している。これらの学習の記録・評価にはe-ポートフォリオを用いている。

2) 総合教育科目「地域・総合診療・症候」

4年生の「地域・総合診療・症候」科目では、地域医療に関して20コマの授業を行っている。内容は、地域医療の概要、医師偏在、診療科偏在、総合診療、プライマリ・ケア、地域包括医療・ケア、在宅医療、遠隔医療、社会保障制度、災害医療、さらに鹿児島県特有の離島医療などである。

3) 必修臨床実習「離島・地域医療実習」

6年次の必修である、臨床実習の「離島・地域医療実習」では、鹿児島県内の離島やへき地に宿泊しながら、実際の診療環境下での診察、検査および治療を指導者の監督指導の下に行っている(12日間)。この実習では、診療所や病院だけでなく、介護施設や、老健施設、薬局なども訪問し、多職種連携の医療現場を体験する。また、在宅医療専門医療機関での2日間の実習も全員に行っている。この他、鹿児島市の保健師が、鹿児島市内全域で行っている住民健康教室「お達者クラブ」に参加し、保健師による住民への予防医療教育の現場を体験している。この集会に於いて、全ての学生は住民への予防医療に関する自作の講演を行い、住民生活に密着した予防医療の話題を提供している。

【地域卒医学生・地域卒卒業医師に行っている取組】

鹿児島県との緊密な連携のもと、鹿児島県からの委託事業費の支援を受け、卒前地域卒学生および地域卒卒業医師に対し、正規のカリキュラム以外に下記の取り組みを行っている。

( (8) ~ (11) は希望者)

- 1) 地域医療に関する講演会 (全員、3回/年)
- 2) 地域医療実習発表会 (全員、1回/年)
- 3) 新入生歓迎懇親会 (全員、地域卒卒業医師)
- 4) 知事と新入生との対面 (1年生全員)
- 5) 自治医科大学卒業医師との交流会 (全員、1回/年)
- 6) 鹿児島県医師修学資金貸与医学生・卒業医師と、出身地首長・郡市医師会等との意見交換会 (各地域の地域卒医学生全員、県内を10の地区に分け、3地区/年開催)
- 7) 離島・へき地医療実習 (1・2年生全員、夏季休業中5日間)
- 8) 地域医療研究 (3年生全員、1課題/人、夏季休業中)
- 9) 卒後のキャリアパスに関する個別面談 (5~6年生全員、研修医、後期研修医)
- 10) 地域医療教育関連シンポジウム参加 (地域医療支援機構などの主催するもの)
- 11) 県外での地域医療実習 (新潟大学地域医療実習に参加)
- 12) 学会発表 (日本医学教育学会、日本プライマリ・ケア連合学会、九州地域医療教育研究会、鹿児島救急医学会など)
- 13) 各種地域医療関連企画への参加・発表

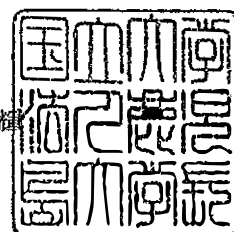
以上の中で、教育内容を毎年度吟味しながら、学生の教育効果の検証も行いつつ、内容の充実を図っている。これらの充実した医学教育の環境と、地域医療教育で学生を教育している。

令和2年度  
医学部入学定員増員計画

鹿大評第13号  
令和元年9月11日

文部科学省高等教育局長 殿

国立大学法人鹿児島大学長  
佐野 輝



「地域の医師確保等の観点からの令和2年度医学部入学定員の増加について（令和元年9月2日文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」を受けて、標記に関する資料を提出します。

<連絡先>

責任者連絡先	職名・氏名	医歯学総合研究科等事務部総務課 企画法規係長・濱平 幸典
	TEL	099-275-6013
	FAX	099-275-6019
	E-mail	isgkikak@kuas.kagoshima-u.ac.jp

大学名	国公立
鹿児島大学	国立

1. 現在(令和元年度)の入学定員(編入学定員)及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
107	10		692

↑  
(収容定員計算用)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	計
(ア)入学定員	107	107	107	107	107	107	642
(イ)2年次編入学定員	10	10	10	10	10	0	50
(ウ)3年次編入学定員							0
計	117	117	117	117	117	107	692

2. 本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和2年度の入学定員(編入学定員)及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
90	10		590

↑  
(収容定員計算用)

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
(ア)入学定員	90	90	90	90	90	90	540
(イ)2年次編入学定員	10	10	10	10	10	0	50
(ウ)3年次編入学定員							0
計	100	100	100	100	100	90	590
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							

3. 令和2年度の増員計画

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
110	10		630

↑  
(収容定員計算用)

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
(ア)入学定員	110	110	90	90	90	90	580
(イ)2年次編入学定員	10	10	10	10	10	0	50
(ウ)3年次編入学定員							0
計	120	120	100	100	100	90	630
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							

増員希望人数	20
↑ (内訳)	
(1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増(地域枠)	18
(2) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増(研究医枠)	
(3) 歯学部入学定員の削減を行う大学の特例に伴う入学定員／編入学定員増(歯学部振替枠)	2
計	20

## 1. 地域の医師確保のための入学定員増について

増員希望人数 18

### (1) 対象都道府県名及び増員希望人数

	都道府県名	増員希望人数
大学が所在する都道府県	鹿児島県	18
大学所在地以外の都道府県		
計		18

※「大学所在地以外の都道府県」が5都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

### (2) 修学資金の貸与を受けた地域枠学生の確保状況

都道府県名	H30地域枠定員 (※1)	H30貸与者数 (※2)	R1地域枠定員 (※1)	R1貸与者数 (※2)	H30とR1の貸与者数のうち多い方の数
鹿児島県	15	15	15	15	15
					0
					0
					0
					0
計	15	15	15	15	15

(※1) 臨時定員分のみご記入ください。

(※2) 恒久定員の中で地域枠を実施している場合、恒久定員分の地域枠の人数も含めた修学資金の貸与実績をご記入ください。

※6都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(3)令和2年度地域の医師確保のための入学定員増について

1. 大学が講ずる措置

1-1. 地域枠学生の選抜

①令和元年度に実施した地域枠学生の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行った場合には、それぞれご記入ください。また、参考として学生募集要項の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数		選抜方法(※1)	出願要件(※1)	開始年度	備考																																								
				うち臨時定員分																																												
推薦入試Ⅱ	(i)推薦入試 (指定校推薦を含む)	別枠(先行型)	15	15	大学入試センター試験、面接、出身高等学校の調査書及び高等学校長の推薦書を総合判定し選抜する。 <table border="1" style="font-size: small;"> <thead> <tr> <th colspan="2">大学入試センター試験の利用教科・科目名</th> <th colspan="2">個別学力検査等</th> </tr> <tr> <th>教科</th> <th>科目名等</th> <th>教科等</th> <th>科目名等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>国</td> <td>その他</td> <td>面接</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>国、日B、地理B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>倫・政経</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>数I・数A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>数II・数B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>物、化、生から2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>英</td> <td>英</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>(5教科7科目)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 【注意】 大学入試センター試験の「地歴」「公民」は、第1解答科目の成績を利用する。	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		教科	科目名等	教科等	科目名等	国	国	その他	面接	地歴	国、日B、地理B			公民	倫・政経			数	数I・数A			理	数II・数B			理	物、化、生から2			英	英				(5教科7科目)			次の各号に該当する者で、本学科の求める人材であり、高等学校長が責任をもって推薦できるもの (1)鹿児島県内の高等学校を卒業した者及び令和2年(2020年)3月に卒業見込みの者 (2)人物、学力ともに優れ、高等学校の学習成績概評がA以上である者 (3)鹿児島県における地域医療に従事しようとする者が可能で、入学後に鹿児島県から貸与される修学資金を受給する意思を確認できる者 (4)へき地を含む地域医療に従事することが可能で、入学後に鹿児島県から貸与される修学資金を受給する意思を確認できる者 (5)合格した場合は、入学することを確約できる者	H21以前	
大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等																																														
教科	科目名等	教科等	科目名等																																													
国	国	その他	面接																																													
地歴	国、日B、地理B																																															
公民	倫・政経																																															
数	数I・数A																																															
理	数II・数B																																															
理	物、化、生から2																																															
英	英																																															
	(5教科7科目)																																															
合計			15	15																																												

(※1)貴大学の学生募集要項の事項をそのままご記入ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

②令和2年度に実施する地域枠学生の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行っている場合には、それぞれご記入ください。また、参考として学生募集要項の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数		選抜方法(※1)	出願要件(※1)	開始年度	備考																														
				うち臨時定員分																																		
推薦入試Ⅱ	(i)推薦入試 (指定校推薦を含む)	別枠(先行型)	18	18	大学入試センター試験, 面接, 出身高等学校の調査書及び高等学校長の推薦書を総合判定し選抜する。 <table border="1" style="font-size: small;"> <thead> <tr> <th colspan="2">大学入試センター試験の利用教科・科目名</th> <th>個別学力検査等</th> </tr> <tr> <th>教科</th> <th>科目名等</th> <th>教科等 科目名等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>国</td> <td>その他 面接</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>世B, 日B, 地理B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>倫・政経</td> <td></td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>数I・数A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>理B・数B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>物, 化, 生から2</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>英</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>(5教科7科目)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 【注意】 大学入試センター試験の「地歴」・「公民」は、第1解答科目の成績を利用する。	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	教科	科目名等	教科等 科目名等	国	国	その他 面接	地歴	世B, 日B, 地理B		公民	倫・政経		数	数I・数A		理	理B・数B		外	物, 化, 生から2			英			(5教科7科目)		次の各号に該当する者で, 本学科の求める人材であり, 高等学校長が責任をもって推薦できるもの (1)鹿児島県内の高等学校を卒業した者及び令和3年(2021年)3月に卒業見込みの者 (2)人物, 学力ともに優れ, 高等学校の学習成績概評がA以上である者 (3)鹿児島県における地域医療に従事しようとすることが可能で, 入学後に鹿児島県から貸与される修学資金を受給する意思を確認できる者 (4)へき地を含む地域医療に従事することが可能で, 入学後に鹿児島県から貸与される修学資金を受給する意思を確認できる者 (5)合格した場合は, 入学することを確約できる者	H21以前	
大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等																																				
教科	科目名等	教科等 科目名等																																				
国	国	その他 面接																																				
地歴	世B, 日B, 地理B																																					
公民	倫・政経																																					
数	数I・数A																																					
理	理B・数B																																					
外	物, 化, 生から2																																					
	英																																					
	(5教科7科目)																																					
合計			18	18																																		

(※1) 貴大学にて作成予定の学生募集要項の事項をそのままご記入ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

## 1-2. 教育内容

①地域枠学生が卒後に勤務することが見込まれる都道府県での地域医療実習など、地域医療を担う医師養成の観点からの教育内容の概要(令和2年度)について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。

1年次では「患者と医療」、2年次では「チーム医療1」、3～4年次では「シャドウイング」、5～6年次では「離島・地域医療実習」を必修科目として開講し、患者とのふれあいや地域医療機関における実習等を通して地域医療の現状・問題、実際の医療への理解を深めている。在宅医療専門医療機関や保健センター活動にも参加している。また、地域枠学生を対象に夏季離島実習などを実施している。

(参考:記入例)

1～2年次には、「〇〇」という科目を開講するとともに「△△」を必修化し、～～を学んでいる。3～4年次には、××実習を行い、～～を学んでいる。またキャリア支援として□□を実施している。令和2年度からは、■■を新たに開始するなど、～～を図ることとしている。

②(過去に地域枠を設定したことがある場合)これまでの取組・実績を、3～5行程度で簡潔にご記入ください。

1年次から継続的に地域枠学生の集会を開催し、実際に義務年限期間中の医師との意見交換の場を提供している。さらに、県内各地の医師会と連携し、医師会員・行政担当者などと意見交換をして地元の期待に触れさせている。その上で、学生自身が地域枠選抜であることをオープンして勉学に勤しむ環境ができています。

(参考:記入例)

平成〇年度から地域枠による増員を開始し、□□、■■などの取組を行ってきた。令和元年度までに△名の地域枠学生を確保し、そのうち▲名が現在～～として地域医療に貢献している。

③上記①の教育内容(正規科目)について、講義・実習科目内容をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

対象学年	講義・実習名	対象者 (※1)	必修／選択の別		講義／実習の 別	単 位 数	開 始 年 度
			地域枠学生	その他の学生			
1年	患者と医療	全員	必修	必修	講義	2	H22
2年	チーム医療1	全員	必修	必修	実習	2	H22
3～4年	シャドウイング	全員	必修	必修	実習	2	H22
5～6年	離島・地域医療 実習	全員	必修	必修	実習	0.5	H21以前

(※1)対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。(地域枠学生の希望者のみの場合は、対象者を「地域枠学生」、必修／選択の別を「選択」とご記載ください。 ※空欄がある場合は、何も記入せずそのままにご提出ください。



④大学の正規科目以外で、提供する地域医療教育プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

対象学年	プログラム名	対象者 (※1)	都道府県との連携	期間 (例:○週間)	プログラムの概要(1~2行程度)	開始年度
1, 2年	夏季離島実習	地域枠学生	あり	1週間	離島やへき地の医療機関での医療実習を行う。外来・老健施設、薬局などの業務体験も行う。	H21以前
3年生	夏季地域医療研究	地域枠学生	あり	数日	地域医療に関する疑問点から、自分のテーマを決めて、研究・調査を行う。	H25
1~6年生	地域医療教育講演会	地域枠学生	あり	3-4回/年	地域医療に関する教育者や、医療関係者を招き、講演会・勉強会を行う。	H21以前
1~6年生	夏季離島実習・研究報告会	地域枠学生	あり	1回/年	全国の地域医療教育専門家や、地域の医療関係者をコメンテーターとして招き、実習や研究の報告を行う。	H21以前
4年生	新潟大学地域医療実習	地域枠学生	あり	1週間	新潟大学の選択実習の「地域医療実習」に参加する。	H24

(※1)対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。  
※空欄がある場合は、何も記入せずにご提出ください。

⑤上記③④以外に、地域医療を担う医師の養成に関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。(令和元年度以前から継続する取組を含む)(1~2行程度)

取組の名称	取組の概要(1~2行程度)	開始年度
地域医師会・行政担当者との交流	各地域でその地区出身者を対象に、首長、医師会長達との意見交換会を実施している。	H29
自治医大卒業医師との交流会・講演会	将来一緒に職場になる機会が多い、自治医大卒業医師との交流の場を設けている。	H29
知事との懇話会	地域から求められている現状を知事との懇談から直接感じる場となっている。	H26

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

## 2. 都道府県等との連携

①都道府県が設定する奨学金について、以下をご記入ください。併せて、都道府県が厚生労働省に提出する予定の地域の医師確保等に関する計画及び「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」(平成元年法律第64号)第4条に規定する都道府県計画等に位置づけることを約束する文書を添付して下さい。  
 なお、複数の奨学金を設定している場合は、それぞれ記入ください。

奨学金の設定主体	貸与人数	貸与対象	貸与額 (例:200,000)		返還免除要件	選抜方法		診療科の限定の有無	(診療科の限定がある場合) その診療科名	備考
			月額	総貸与額		選抜時期	大学の関与の有無(※1)			
鹿児島県	18	新入生		9,400,000	(1) 業務従事期間の満了による場合【全額免除】 次の要件をすべて満たした場合、修学資金の返還の債務(以下「返還債務」)の全部の免除を受けることができます。 ① 大学卒業後2年以内に医師の免許を取得したこと ② 医師の免許の取得後、直ちに知事が定める病院が実施する臨床研修(以下、指定臨床研修)に従事したこと ③ 指定臨床研修を修了した日の属する月の翌月の初日から起算して修学資金の貸与期間の月数に2を乗じて得た月数に相当する期間を経過する日(業務従事期間)までに、知事が別に定める病院が実施する研修(実務研修)に従事し、かつ、通算して6年間へき地医療機関等においてその業務に従事したこと(へき地医療機関等の詳細についてはP4～P6参照) (2) 特定の事由により、業務の継続が困難となった場合【全額免除】 上記(1)の業務に従事している期間中に、業務により死亡し、又は業務に起因する心身の故障のため業務を継続することができなくなった場合は、返還債務の全部の免除を受けることができます。 (3) 返還が免除される事由の発生による場合【全額又は一部免除】 修学生が貸与金の返還をすることとなる場合(下記「5(1)」参照)において、死亡又は心身の著しい障害その他やむを得ない事由により貸与を受けた修学資金を返還することができなくなったときは、返還債務の全部又は一部に相当する額の免除が認められる場合があります。	③地域枠入学者であれば別途選抜を実施せず貸与	○	×		奨学金の対象者となる入学者選抜を大学が行う。

(※1)○の場合は、備考欄に詳細をご記入ください。  
 ※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

②その他、都道府県と連携した取組があれば、簡潔にご記入ください。(例:在学中の学生に対する都道府県と連携した相談・指導、卒後のキャリアパス形成等に対する支援)(1～2行程度)

取組の名称	取組の概要(1～2行程度)	開始年度
定期的な面談	鹿児島県の担当者との定期的な面談を通じ、研修内容や義務年限の修練方法を考える機会を提供している	H21以前

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

### 3. その他

1～2に記入したもの以外で、その他、地域の医師確保の観点から大学の今後の取組があれば、簡潔にご記入ください。(1～3行程度)

特に、都道府県からの奨学金の貸与を受ける者、地域枠入学者を確保するために貴大学で取り組まれていることや今後の取組み予定がありましたら、ご記入ください。

鹿児島県知事をはじめ、各自治体の首長から直接に期待の言葉をかけてもらったり、地元医師会、住民との交流を企画し、入学時の意欲の維持に努めている。また、指導教授制度で、定期的に勉学状況の確認をし、進路相談を実施している。県内の高校を訪問し、出前授業として「地域医療」に関する講義を行い、地域枠制度の紹介や、地域枠医学生・卒業医師の活躍の様子を伝えている。そのような活動で地域の期待を感じてもらい、学生の出身高校への情報がその後の地域枠学生の確保に貢献すると考えている。

### 3. 歯学部入学定員の削減を行う大学の特例に伴う入学定員増について

増員希望人数 2

#### (1) 歯学部入学定員の削減人数

①平成22年度～令和元年度における歯学部入学定員について、以下をご記入ください。

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	合計
歯学部入学定員	55	55	53	53	53	53	53	53	53	53	53	
歯学部編入学定員												
計	55	55	53	53	53	53	53	53	53	53	53	
対前年減		0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	合計
歯学部入学定員の削減に伴う医学部の臨時定員増員数			2									2

#### (2) 令和2年度歯学部入学定員の削減を行う大学の特例に伴う入学定員増について

①当該入学定員増の概要(令和2年度)について、1～2行程度で簡潔にご記入ください。

平成23年度に歯学部定員を削減した2名分について、医学部定員の再増員を行う。

(参考: 記入例)

○年度に歯学部定員を削減した△名分について、医学部定員の再増員を行う。

保 福 第 409 号  
令和元年 9 月 5 日  
(医療人材確保対策室扱い)

厚生労働省医政局長 様

鹿児島県くらし保健福祉部長



### 地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和元年 9 月 2 日付け元文科高第 391 号、医政医発 0902 第 3 号に基づき、下記のとおり、令和 2 年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。今後、地域の医師確保等に関する計画及び都道府県計画等に位置付けるための必要な手続を行います。

#### 記

1 増員数

18 名

・鹿児島大学医学部における地域枠：18 名

2 計画

今回の地域枠増員について、地域の医師確保等に関する計画及び都道府県計画等に盛り込む。

担 当：医療人材確保対策室医師確保対策係 小野，福迫  
電話番号：099-286-2653 (直通)